

こちら鹿児島市小野町
武岡台養護学校
進路指導情報局



卒業記念号

令和3年3月17日
鹿児島県立武岡台養護学校
進路指導係

コロナ禍の中、進路に関する取組を十分に行えなかった部分もあったかと思いますが、本年度も本校の進路指導業務へご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。卒業を迎える高等部3年生の進路状況について報告いたします。

○ 令和3年3月卒業者の進路状況（3.15 現在）

年 度	就 職		福 祉 サ ー ビ ス の 利 用							進 学	そ の 他	計
	企 業 就 職	就 労 継 続 支 援 A 型	就 労 移 行 支 援	就 労 継 続 支 援 B 型	自 立 訓 練	生 活 介 護	地 活 セ ン タ ー	児 童 施 設 継 続	そ の 他			
30	9	4	3	14	2	8	0	0	0	1	0	41
R1	6	0	3	7	3	11	0	0	1	1	0	32
R2	3	1	2	9	2	16	0	0	1	1	1	36

就 職： 株式会社城山ストアー、南国殖産株式会社、ユニクロアミュプラザ鹿児島店

就労継続支援 A 型（雇用型＝就職扱い）： エルビレッジ

就労移行支援（就職訓練2年間）： ラシーネ、旭福祉センター

就労継続支援 B 型： ビレイ松ヶ尾、みんなのお家宇宿事業所、希望の園、しごと工房はな、ひらみよベース
紫原、百花、ワークショップあすもね、サポートなごみ、みらいず、夢☆あこがれ
ワークセンターあゆみ、

自立訓練（生活訓練2年間）： 生活サポートコパン、マナビバゼミナール

生活介護： 旭福祉センター、アムアの森、しろやまの風、ふもと、あさひが丘、とまと、育成センターコス
モス、花の木カノン、ユーススコラ鹿児島、奏の丘、デイサービスセンターDおしょうぶ、ぱれっと
あおいとり、デイサポートるーちす、生活介護事業所ぱすてる、ていくおふ

その他：生活支援センターえがお（医療型短期入所日中利用）、

進 学： 鹿児島障害者職業能力開発校造形実務課



○ 卒業後の支援について

高等部卒業後は、「学校から社会へ」「子どもから大人へ」という二つの大きな変化を同時に経験していきます。この変化をできるだけスムーズに乗り越えていけるように、学校としても卒業生をサポートしていきます。「卒業生継続指導」として以下の支援内容を行います。

進路先との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の移行支援計画をもとに、引継を含めた支援会議を行います。 ・進路先と連絡を取り合い、常に情報交換をしながら、卒業生の状況の把握に努めます。
訪問指導	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が進路先を訪問し、進路先との情報交換を行います。実際に卒業生と会い、継続した見守りや必要に応じた指導や助言も行っていきます。 ※前後期の実習期間（6月、9月）や夏季休業中を利用して実施していきます。
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な事案が発生した場合、ハローワークかごしま、鹿児島障害者職業センター（ジョブコーチ支援）、かごしま障害者就業・生活支援センター、相談支援事業所などと対応に関する連絡調整を行います。
余暇活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事への参加案内や同窓会行事等を行います。
進路相談	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生からの相談等（悩みや困ったことなど）に随時対応します。

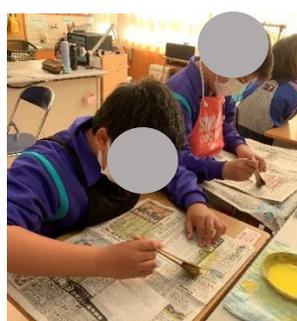
小学部

中学部作業学習見学・体験

小学部6年生では、11月中旬から中学部への進学に向けた学習を始めました。中学生になるために6年生の今から頑張ることや、制服や通学する校舎が変わること、「算数」が「数学」に名称と内容が変わることなどを学習すると、期待と同時に不安な様子を見せる児童も見られました。また、中学部からある「作業学習」について各班の作業の様子を写真や動画で紹介したり制作した物を実際に見せたりすると、「お皿が可愛い」「〇〇班のこの作業をやってみたい」など作業学習に対して前向きな声をたくさん聞くことができました。

実際に中学部の作業学習の授業を見学した際は、事前学習で学んだ見学時のマナーに気をつけながら、中学部の先生方の説明を聞いたり、先輩たちの作業の様子を見たりすることができました。分からないことや疑問に思ったことがあるときには自分から質問する姿も見られました。

12月1日と3日には、実際に作業学習の体験活動に参加しました。中学部の先生方からやり方を教わりながら、時間一杯集中して作業をする姿や、分からないことを相談したり、作業終了後の報告をしたりするなど、児童たちも日頃とひと味違った少し成長した姿が見られました。体験活動後のまとめの学習では、中学部への期待感と意欲のこもった言葉や表情が多くあり、日頃の学習に取り組む姿勢にも変化を感じられるようになってきました。(小学部 堀之内)



学年PTAでの進路研修会

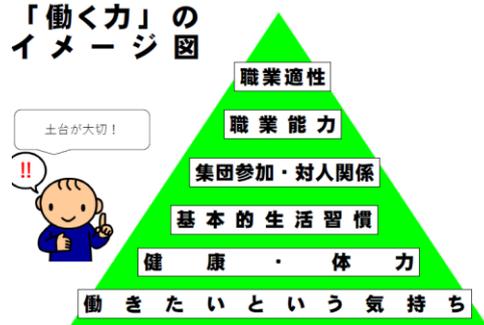
9月に第2学年、12月に第6学年のPTAの中で、高等部進路指導主任の海江田先生を講師として、「小学部のいまだからこそ知っておきたい進路のこと」をテーマに講話を行いました。高等部卒業後の卒業生の様子や本校の中学部高等部の学習、生徒及び保護者が学校や家庭で取り組んでいる進路に関する学習や研修、子どもたち一人一人の社会参加を作っていくためのサポートの活用など、たくさんの内容をコンパクトに要点をまとめて取り扱っていただきました。

また、歌あそびや読み聞かせの体験もしていただき、子どもたちの「できること、難しいこと、支援があればできることの見立て方や周囲の支援者へのつなぎ方、子育ての視点などにも触れていただき、大変有意義な時間となったのではないかと思います。講話後のアンケートでは、「小学部の今の段階から取り組むことで子どもの将来の選択肢を広げていきたい」「今から積極的に情報を取り入れ勉強していきたい」「毎日些細なこと、できることからコツコツと続ける大切さ、子どものことを他の人に伝える大切さ、たくさん情報をゲットして利用していこうと思いました」「またこのような研修があれば参加したい」など、前向きな御意見をたくさんいただきました。

今後も保護者の皆さんの学びたい気持ちに応え、情報共有を深めながら学び合える場を設定していきたいと思っております。

(小学部 堀之内)

「働く力」のイメージ図





中学部おそうじ教室

例年は外部講師を招いての実施ですが、今年度は高等部進路指導係の海江田先生に講師をお願いしました。また、感染症対策として密を避けるために学年毎に日時や場所分けて行うように変更しました。内容については例年どおり、1年生は台ふき、2年生はモップ、3年生はほうきの使い方について取り扱いました。それぞれ実技の前には、挨拶や返事、身だしなみ、安全など掃除に関する基本的な心構えについて説明を受けました。今年度は講師補助として高等部生徒にも参加してもらい、身だしなみや挨拶の仕方、そうじの実演もあり、かっこいい先輩方の姿に意欲やあこがれを強くした生徒もいたようです。これらの基本的な生活習慣の確立や清掃活動の習慣化が進路指導やキャリア教育の基盤となっていくことを私たちも再認識しました。

この他、3年生では、進路学習を継続的に行いました。社会学習では旭福祉センターで利用者の皆さんの働く姿を見学したり、高等部の作業学習見学及び体験を通して卒業後、進学後を考える学習に取り組んだりしました。その成果もあり3年生全員が本校高等部に無事合格できたことも末筆ながら加えさせていただきます。(中学部 松尾)



産業現場等における実習の事前事後学習

今年度は、コロナ禍において、実習先の調整に多少の影響は受けたものの、産業現場等における実習(全学年)と職場体験実習(第1学年)を実施することができました。

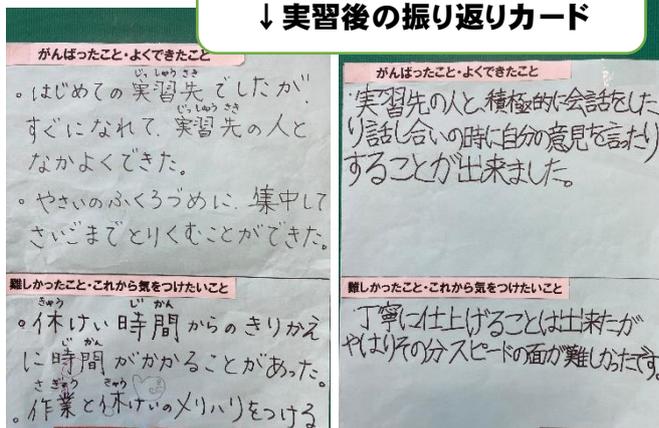
実習を実施する上で大切にしていることの中に、事前事後学習があります。事前学習では、日常の作業学習や既習経験、前回の実習評価等を踏まえ、今回の実習で本人が意識して取り組む課題等を目標として設定します。また、目標達成に向けての意欲を高めることをねらいとして、学年の生徒や職員の前で自分が立てた目標を発表する目標発表会を実施しています。公言することが目標達成への第一歩となり、良い緊張感をもって実習に臨むことができているように感じています。

事後学習では、実習で達成できた目標や実習先から認められたこと、改善するよう指摘を受けたことなどを振り返ります。自分では気付いていないところで良い評価をしていただいていたたり、自分ではできているつもりでも今後の課題として評価をしていただいたり、今後に向けて多くの気付きが生み出される大切な学習となります。

このような学習を繰り返し積み重ねることで、自己の成長を実感し働く意欲を高めたり、卒業後の生活に見通しをもったりすることにつながっていると考えています。(高等部 山口)



↑ 目標発表会の様子
↓ 実習後の振り返りカード



おめでとう！アビリンピック！

鹿児島県障害者技能競技大会 入賞 7月19日（日）ポリテクセンター鹿児島
 全国障害者技能競技大会 出場・入賞 11月14日（土）愛知県国際展示場

例年本校高等部生徒も参加している鹿児島県障害者技能競技大会（アビリンピック鹿児島大会）ですが、今年度は6人の参加希望があり、昼休み等を中心に自主的に練習を重ねました。当日は、他校の生徒や一般の参加者に混じりながら、緊張の中ではありますが練習の成果を発揮することができました。本校からは、2人金賞、1人銅賞を受賞しました。また、金賞の2人については県代表として愛知県で行われた全国アビリンピックにも出場し、2年大塚弘也さんが銀賞を受賞しました。

競技種目	本校参加人数	鹿児島大会入賞	全国大会出場, 入賞
ビルクリーニング	2人	—	—
喫茶サービス（規定）	1人	銅賞1人	—
オフィスアシスタント	2人	金賞1人	3年U・Mさん出場
写真	1人	金賞1人	2年O・Hさん出場, 銀賞受賞



武養就職セミナー 8月3日（月）高等部の企業就職を希望する生徒及び保護者対象

企業就職希望者を対象に、就職に内容を特化して障害者雇用等の実績のある企業担当者や就職支援に取り組む障がい福祉サービス事業所担当者に来校していただき取組の紹介をしていただく内容で、昨年からは企画しています。今年度は高等部の生徒及び保護者40人程度の参加があり、熱心に話を聞いたりメモを取ったりする様子が見られました。また、全体会終了後に個別相談会も行い、これまでよりたくさんの情報を得る機会となりました。



- (株)セイカライフサポート
- ・介護付き有料老人ホームを運営、職員は100人程度
 - ・障がい者6人雇用（知的、身体）雇用率4.08%
 - ・入居されている高齢者の身の回りのお世話や建物内の清掃
 - ・定着支援①入社前に職場実習②本人やご家族と定期面談
 ③支援機関との連携（就業・生活支援センター）など
 - ・働きやすい環境づくりや体調管理に取り組んでいる

R2セミナー参加事業所	種別
(株)城山ストアー	企業（加工、販売）
ユニクロアミュプラザ鹿児島店	企業（販売）
(株)セイカライフサポート	企業（介護）
就労支援センターハーモニー	就労移行支援
時之栖（とくのすみか）	就労継続支援A型
ワークサポートひとつ	就労継続支援A型ほか
天文館果実堂	就労継続支援A型ほか



生徒、保護者からの質疑応答

個別相談会にも熱が入ります。



実習反省会及び情報交換会 10月21日(水) 高等部保護者対象

高等部の前後期実習終了後に、実習先担当者を招いて職場実習の取組を振り返るとともに、進路指導に関する情報を共有する会として平成29年度から開催しています。今年度は前半を後期実習先担当者の作業学習参観、後半を保護者も参加して実習についての報告及び今後に向けたアドバイスの講話、個別相談会として、内容を一新し実施しました。

講師として、石谷の郷の堂免良久施設長から学校、家庭、職場(実習先)で取り組んでほしいことが具体的に示されました。保護者の皆様は直接実習担当者と生徒の様子について話をうかがったり、新しい事業所の紹介を聞くことができたりしたことで有意義な時間となったようです。実習先担当者の皆様も、本校の生徒の日常の取組や学校での様子、他事業所の実習などを知ることができ、今後の実習受入に生かしたいとの声が多く寄せられました。



(堂免様の講話抜粋)

- 1 障害の有無にかかわらず社会生活(就労)に必要な力
健康管理, 日常生活管理, 対人技能, 基本的労働習慣, 職業適性
- 2 学校で取り組んでほしいこと
 - ・自分から挨拶ができる
 - ・分からないときに指示を求めることができる
 - ・失敗したときにどう行動すればよいか考えることができる
 - ・移動能力を身につけてほしい
- 3 家庭で取り組んでほしいこと
 - ・継続して勤務することは本人の力だけでは不可能だと心得てほしい
 - ・生活の目標を子どもと一緒に設定してほしい
 - ・兄弟の夏休み期間が関門になることを知ってほしい(学校と異なる生活リズム)
 - ・いきなり8時間ではなく時短勤務から始めることも選択肢に入れてほしい。
- 4 職場(実習先)で配慮してほしいこと
 - ・働き手の一人として見るだけでなく、障害者と働く良さも知ってほしい。
 - ・障害のある新規学卒者にとって職場で働くことは大変な緊張と体力を必要としていることも気づいてほしい。
 - ・人事異動で人事担当者や現場責任者が別の担当者に交代する際は、引き継ぎを密に行ってほしい。



コロナ禍の中で・・・来年度に向けて

昨年度末に引き続き、コロナ禍の中で年度当初のPTA総会や各学部PTA、福祉施設等説明会などを中止したため、進路指導に関する情報提供の機会を十分に確保できず大変申し訳ありませんでした。

(PTA進路研修部主催の施設見学や進路研修会も中止でした。)しかしながら、高等部の産業現場等における実習や鹿児島労働局主催就労支援セミナー、実習面接会など、地域の関係機関の皆様のご理解とご協力で感染対策を十分に考慮し充実した取組につながったことも多くありました。令和3年度はさらに、工夫改善を重ね、児童生徒一人一人が自立と社会参加を目指すことができる進路指導の取組をさらに進めていきたいと思っております。

卒業生からのメッセージ

令和2年3月に卒業した5人の卒業生から在校生に向けたメッセージをいただきました。

○現在の仕事（進路先）を決めたポイントは？

- ・仕事内容と勤務時間が自分に合っていると思った。
- ・学校で学んだことや経験が生かせると思った。
- ・実習を通して、緊張している自分に優しく声をかけてくださって、ここで働きたいと思った。
- ・仕事に取り組んだときに、きれいにできるようになったりスピードが上がったりして、うれしくてやりがいを感じたから。

○学校で勉強して、今ためになっていること

- ・技能検定の清掃部門
- ・実習でいろいろなところに行き仕事を体験したこと
- ・報告連絡相談や語先後礼、自分から行動すること、周りの人に相談すること
- ・自分から積極的に挨拶や手伝いをする

○後輩へのメッセージ

- ・皆さんが今学んでいることは将来社会人になって役立ちます。一生懸命勉強に取り組んでください。
- ・実習したことや学校での経験はためになることばかりです。
- ・今できることを頑張ってください。
- ・私も高校3年生の途中までは自分が本当にしたい仕事がいなくて卒業後がすごく不安だったんですけど、いろいろなところに実習に生かしてもらったり、親や先生たちとたくさん話をして話し合っって進路先を決めることができたので、みんなも焦らないで、自分が本当にしたいところを選ぶようにがんばってください。



写真で振り返る本年度の進路指導

実習激励会（外部講師セミナー）



産業現場等における実習（校内、校外）



3年求職登録（就職希望者）



生徒職員合同学習会（技能検定）



鹿児島市技能体験教室

小5お掃除教室



県庁舎内における職場実習（インターンシップ）



特別支援学校技能検定